

令和3年度 第3回 尼崎21世紀の森づくり協議会 議事録

日時 令和4年2月25日(金) 15時00分～16時30分

場所 尼崎リサーチ・インキュベーションセンター 小ホール

○委員(出席者14名)

(五十音順)

氏名	役職	備考
東 朋子	NPO法人コミュニティ事業支援ネット理事長	
岸本 幸三	NPO法人尼崎21世紀の森理事	
北山 耕司	日本製鉄(株)関西製鉄所尼崎総務室長	
小林 卓治	尼崎信用金庫理事執行役員	
田尻 和行	尼崎市都市整備局長	
中瀬 勲	兵庫県立人と自然の博物館館長	
西村 善明	尼崎鉄工団地協同組合理事長	
伴 公子	尼崎市社会福祉協議会理事	
前島 紳作	(株)神戸新聞社阪神総局長	
正垣 修志	兵庫県阪神南県民センター長	
増田 裕一	尼崎市教育委員会事務局学校教育部長	
松山 大輔	阪神電気鉄道(株)沿線価値創造推進室部長	
山浦 秀明	尼崎青年会議所委員	
山田 隆	日本山村硝子(株)CSR推進室長	

■資料の確認/事務局

【資料】

- 資料1 「尼崎21世紀の森構想」の取組状況
- 資料2 「尼崎21世紀の森構想エリアツアー」の開催延期について
- 資料3 企業向け尼崎21世紀の森づくりにおけるSDGs推進ガイドブック作成進捗状況
- 資料4 令和4年度の取組みについて

【参考資料】

- 参考資料1 令和3年度第2回尼崎21世紀の森づくり協議会議事録
- 参考資料2 尼崎21世紀の森づくり協議会設置要綱

■中瀬会長による開会の挨拶

春を迎え、これから尼崎21世紀の森構想エリアをみなさんが利用しやすい時期となった。先日、淡路景観園芸学校とシンガポールをオンラインでつなぎ、コロナ禍で公園の使い方がどうなっているのかについて話し合った。その時のテーマが「ヘルシーパーク、ヘルシーピープル(健康な公園では、健康な人々が利用する。健康な人々は、

健康な公園に行く)」であった。また、「バイオフィリックパーク（健康な公園づくり）」というシンガポールの国づくりを紹介いただいた。コロナ禍でみんなが緑や公園を好きになっている傾向があるとのことである。このような背景から、このたび議論する尼崎21世紀の森づくりの意味がますます重要になってくるものと考えている。

また2年前から尼崎21世紀の森づくりで取り組んできたSDGsであるが、兵庫県の本庁がSDGsの取組を本格的に進めることになり、ようやく尼崎21世紀の森の歴史がつくられてきた感じがする。

尼崎21世紀の森構想エリアには、公園などの新しい施設が立地しているが、もともと工場などがあった場所につくられたものである。今後、尼崎21世紀の森構想エリアの昔の地番、地名などを発掘する等、尼崎21世紀の森構想エリアの歴史を踏まえ、尼崎21世紀の森づくりに取り組んでいくことで、皆さんといっしょに歴史をつくっていきるのではないかと考える。

■報告事項 「尼崎21世紀の森構想」の取組状況

○資料説明（事務局）

資料1 「尼崎21世紀の森構想」の取組状況をもとに、以下の内容を事務局より説明。

- 1) 緑も水辺も育む賞
- 2) 三原舞依選手へ花束贈呈式
- 3) 森のマルシェの開催
- 4) 「尼崎21世紀の森構想」策定20年記念事業

○意見交換

前島委員：都市養蜂フェスティバルは、なぜ森のマルシェのパンフレットに内容を掲載していないのか。

事務局：都市養蜂フェスティバルは昨年秋に開催を予定していたイベントであり、森のマルシェとは別のイベントであった。しかしコロナ禍で都市養蜂フェスティバルが中止となったため、「尼みつ」で作ったスイーツ等の出店を予定していた協力団体の方々のブースや、展示パネルなどをお披露目することとなった。ただし、森のマルシェに参加する出展者と同様の位置づけ（1テントブース）で実施するため、パンフレットには掲載されていない経緯がある。

岸本委員：尼崎の森中央緑地での野外上映会だが、スクリーンはどのように設置するのか。

事務局：パークセンターの南側の壁面などを使って設置する予定である。スクリーンは、空気を通しやすく強風にも耐えられるものである。

東委員：森の野外上映会は興味深いイベントなので、雨天時の対応の仕方も含め、地

域の方々にもPRをしていただきたい。

■協議事項 (1) 「尼崎21世紀の森構想エリアツアー」の開催延期について

○資料説明 (事務局)

資料2 「「尼崎21世紀の森構想エリアツアー」の開催延期について」をもとに、事務局より説明。

○意見交換

中瀬会長：尼崎の森中央緑地は視察で訪れる団体なども多い。今後、例えば地元のタクシー会社と連携して有料ツアーを企画し、得られた利益を地域に還元するなどの手法について、可能な範囲で検討していただきたい。

■協議事項 (2) 企業向け尼崎21世紀の森づくりにおけるSDGs推進ガイドブック作成進捗状況

○資料説明 (事務局)

資料3 「企業向け尼崎21世紀の森づくりにおけるSDGs推進ガイドブック作成進捗状況」をもとに、事務局より資料説明。

○意見交換

東委員：企業向け尼崎21世紀の森づくりにおけるSDGs推進ガイドブックの完成はいつになるのか。今回の資料では、紹介されている事例が限られている。また、チャンネルフライデーは関係するNPOの名称などが抜けていることや、ここに掲載されていない森の文化祭には、関連するいくつかの企業も参加している。冊子として仕上げてしまえば追記等ができない。WEBであれば追記の対応ができると思う。

事務局：現段階で本ガイドブックは製作途中のものであり、限られた時間の中で企業にヒアリングを行い作成したものである。改めてWEBにするのか冊子にするのか今後検討予定である。事例については今後情報を把握したものから順次追加する予定である。なお、冊子として仕上げてしまうと、取組事例などの追加更新が難しくなるため、基本はWEB上にアップする。しかし、水と緑を育む賞などの説明会やSDGsに関する企業研修会などでは、最新の段階のものを冊子としてとりまとめ、配付することも考えている。

東委員：今後、企業向け尼崎21世紀の森づくりにおけるSDGs推進ガイドブック作成に向けて内容を精査いただくことや、協議会委員を中心にSDGsの取組に関するヒアリング等を行い、他にもSDGsに取り組む企業の事例として追加いただきたい。

中瀬会長：WEB上でアップする場合、SDGsという国際的なテーマでもあることから、活動タイトル、企業名などは英語を併記することを検討いただきたい。英語を併記することで海外からホームページ等にアクセスされる機会も増え、尼崎21世紀の森づくりのPR効果も高まる。

■協議事項（3） 令和4年度の実施について

○資料説明（事務局）

資料4 「令和4年度の実施について」をもとに、事務局より資料説明。

中瀬会長：企業向け尼崎21世紀の森づくりにおけるSDGs推進ガイドブックに紹介されている企業運動会であるが、従業員同士のコミュニケーションの場にもなるので、その趣旨をガイドブックに盛り込んでいただきたい。
アメリカの公園では、企業等が公園で運動会を実施しやすいよう、綱引き用のロープなどの貸し出しを行っている。今後、尼崎の森中央緑地でも運動会の備品の貸し出しについて検討してはどうか。

岸本委員：チャンネルフライデーは、従業員同士のコミュニケーションの場や、企業同士の交流の場を目指し、勤務時間後に運河周辺の従業員が参加できるカラオケ大会である。コロナ禍で開催が延期になっていたが、開催できるようになれば色々な企業といっしょに盛り上げていきたいと考えている。
またコロナ禍で、私自身が良く屋外に出かけるようになった。尼崎の森中央緑地のシロツメグサの草原や北堀運河から眺められる夕日の風景など、森構想エリア内にはインスタ映えするスポットがたくさんあることがわかった。
今後のこのような場所をもっとPRしていきたいと思う。

中瀬会長：尼崎21世紀の森構想策定後、20年が過ぎさらに多くの野鳥が飛来すると思う。バードウォッチングができる場所づくりなども検討していただきたい。
また、アニマルウェルフェア（Animal Welfare：動物福祉）という考えにもとづく取組がヨーロッパで盛んになってきている。これまで癒されてきた動物を、今度は癒してあげるという視点で、尼崎の森中央緑地を利用してもうことを考えてもよいかもしれない。

■閉会

以上